

第28回市川市行徳臨海部まちづくり懇談会

日時 平成22年3月25日(木)

18:30~20:00

会場 行徳文化ホールI&I大会議室

次 第

1. 開 会

2. 報 告

(1) 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について

- | | |
|------------------------|------|
| ア) 主な経緯と今後の予定について | 資料—1 |
| イ) 塩浜1丁目護岸の整備について | 資料—2 |
| ウ) 塩浜地区整備事業について | 資料—3 |
| エ) 市川漁港整備事業について | 別添 |
| オ) 地域コミュニティゾーン整備事業について | 資料—4 |
| カ) 行徳湿地再整備について | 資料—5 |

3. その他

- ア) 平成22年度の開催について

4. 閉 会

第28回市川市行徳臨海部まちづくり懇談会委員名簿

平成22年3月25日現在

| 分野 | 氏名 | 所属・専門 |
|---------|--------|---|
| 学識者 | 西村 幸夫 | 東京大学 工学部 教授 |
| | 風呂田 利夫 | 東邦大学 理学部 教授 |
| 自治会 | 熊川 芳男 | 行徳地区自治会連合会 会長 <欠席> |
| | 歌代 素克 | 南行徳地区自治会連合会 会長 |
| 市民団体 | 佐野 郷美 | 市川緑の市民フォーラム 事務局長 <欠席> |
| | 安達 宏之 | 特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター 広報 |
| | 丹藤 翠 | 行徳まちづくりの会 代表 |
| | 東 良一 | 特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会 理事長 |
| 漁組 | 藤原 孝夫 | 市川市行徳漁業協同組合 |
| | 及川 七之助 | 南行徳漁業協同組合 専務理事 |
| 企業・関係機関 | 佐々木 洋晃 | 市川市塩浜協議会 まちづくり委員会 事務局長 |
| | 高根 英樹 | 社団法人 市川青年会議所 理事長 <欠席> |
| | ※門田 高朋 | 独立行政法人 都市再生機構 千葉地域支社 都市再生業務部市街地整備チーム チームリーダー |
| | ※土屋 光博 | 市川市 副市長 <欠席> |
| 公募 | 川口 勲 | 市川市民 |

※報償金対象支出外

(敬称略)

行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯（H21.12.24以降）

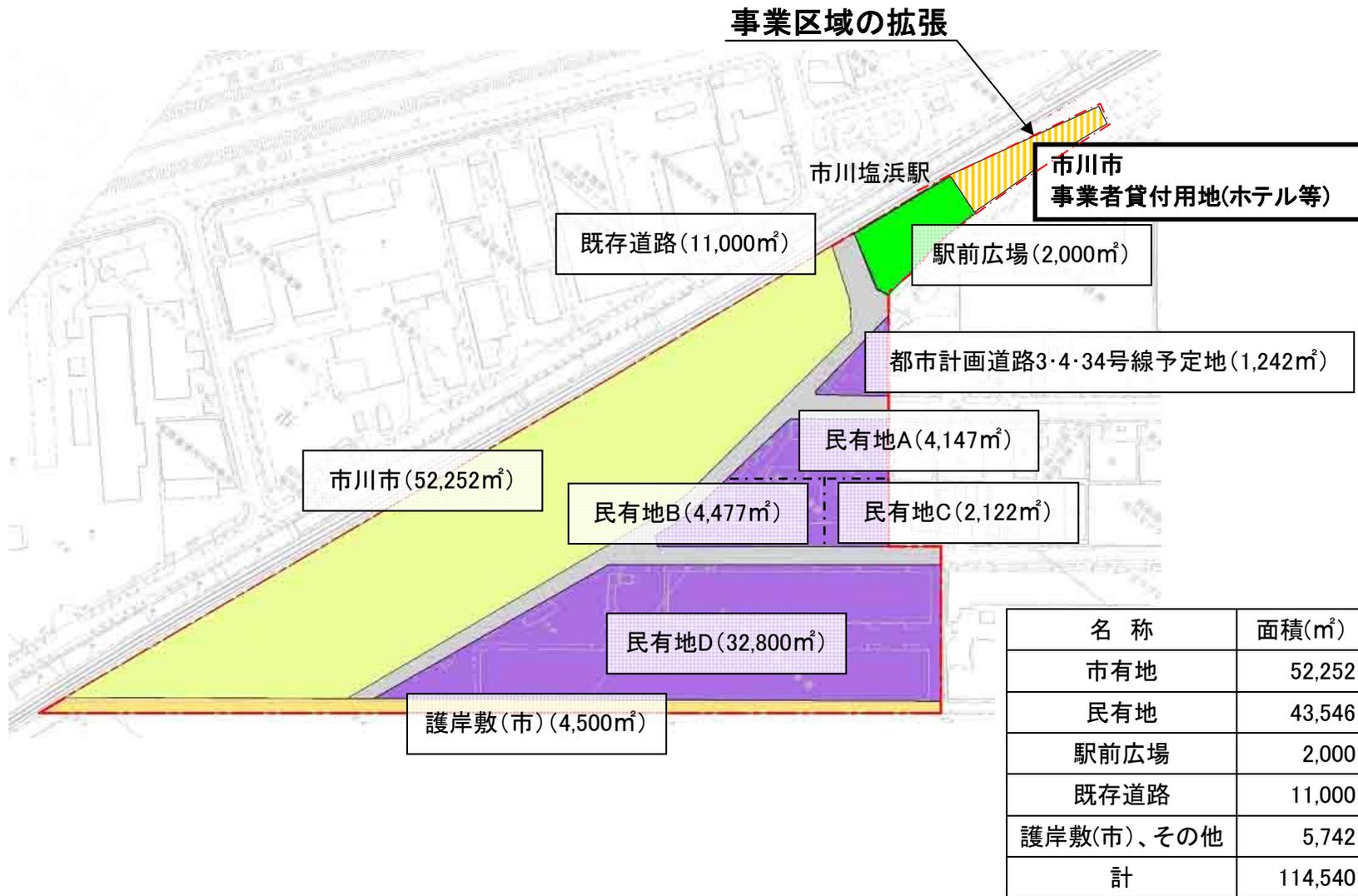
平成22年3月25日

| 年月日 | 内容 |
|-------|---------------------------------|
| 平成22年 | |
| 2月25日 | 第6回「行徳湿地再整備に係るワーキンググループ」開催（千葉県） |
| 3月16日 | 「千葉県行徳内陸性湿地再整備検討協議会」開催（千葉県） |
| 3月17日 | 第29回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県） |
| 3月23日 | 第18回「三番瀬漁場再生検討委員会」開催（千葉県） |
| 3月24日 | 第14回「三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会」開催（千葉県） |
| 3月25日 | 第28回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市） |

行徳臨海部の課題に係る今後の予定

| 年月日 | 内容 |
|-------|-------------------------------|
| 平成22年 | |
| 5月 | 第30回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催（千葉県） |
| 6月 | 第30回「三番瀬再生会議」開催（千葉県） |
| 7月下旬 | 第29回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催（市川市） |

塩浜地区整備事業 第1期先行地区拡張図(案)



地域コミュニティゾーン整備事業の進捗状況

1. 事業概要

○計画面積 約3.38ha

○計画施設

下妙典公園（約14,400㎡）

体育館、当面運動場（約12,400㎡）、

障害者施設（約6,400㎡）

道路拡幅（約600㎡）

2. 前回開催以降の経緯

12月24日 行徳臨海部まちづくり懇談会

1月7日 収用事業認定申請書を収用委員会事務局へ提出

1月28日 収用委員会事務局より申請書（写）の送付（縦覧用）

2月2日 公告・縦覧

～16日

2月17日 縦覧結果報告（閲覧者なし、意見なし）

3月12日 県報告示（千葉県告示第111号）

3. 事業の進捗状況

・用地買収（平成21年度末で68.75%完了）

4. 今後のスケジュール（平成22年度）

・事業認可が下りるまで待っていただいた土地の買収

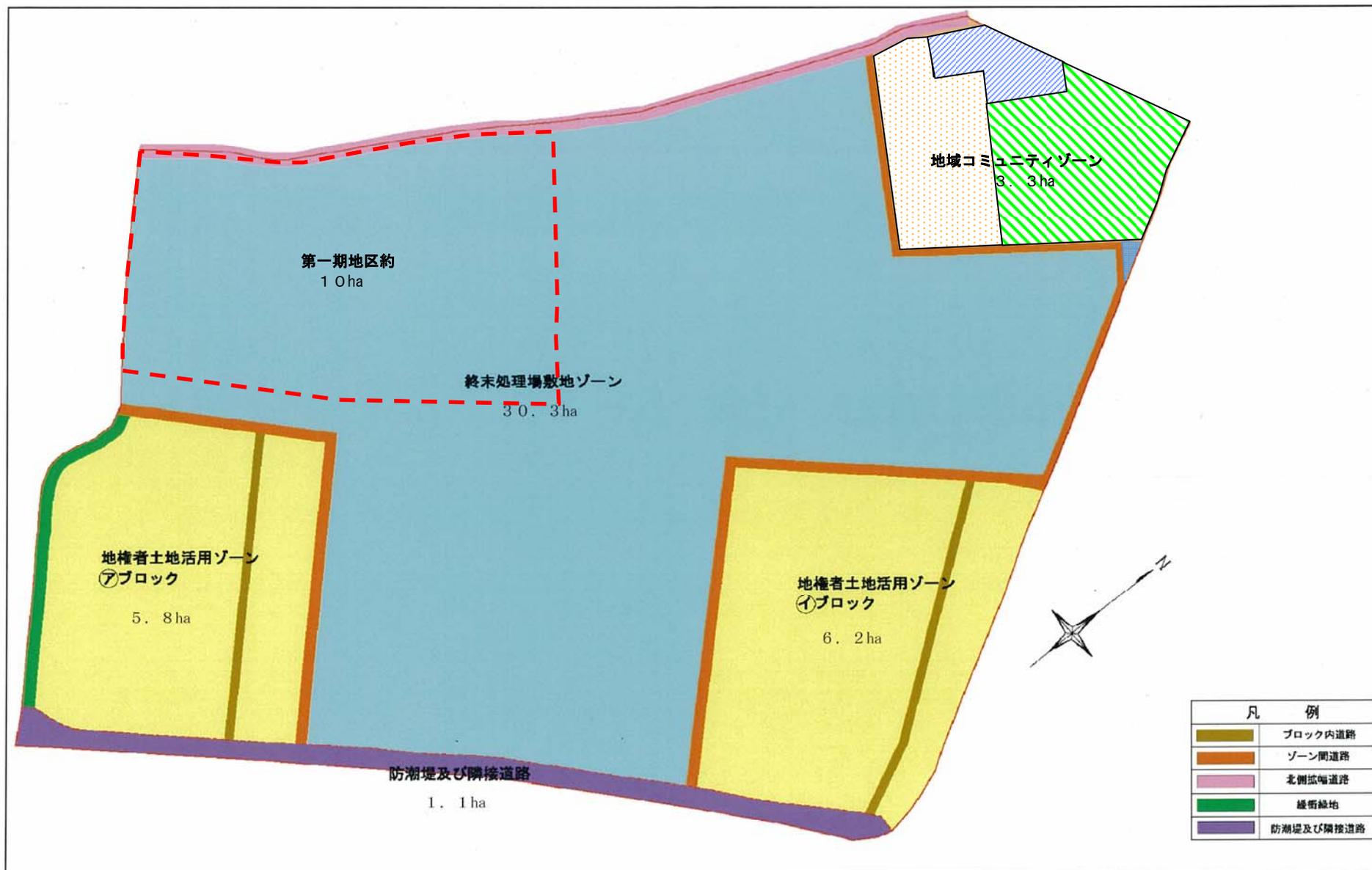
・代替地の紹介等、総ての用地取得を目指し地権者交渉を継続

・江戸川スーパー堤防事業との調整、協議（下妙典公園の一部が事業区域）

・江戸川第一終末処理場整備事業との調整、協議（北側拡幅道路、ゾーン間道路、法定外公共物の取り扱い等）

・土地造成実施計画の策定

地権者土地活用ゾーンを含む土地利用計画図



行徳湿地再整備事業について

千葉県環境生活部自然保護課

1 平成21年度の実施内容

(1) 生物生息環境調査

当初、海水交換を促進する施設整備（千鳥水門増設）を行った場合の水位変動増大に伴う生物への影響及びその影響を受ける生物の移殖の調査を、主にウラギク湿地に生息するカワアイを対象として、

①浮遊期幼生の分散状況検討

②江戸川放水路への移殖調査

を主な項目として行う予定でございましたが、

①については、その調査の対象としているカワアイが外来種の可能性があるとの発表（参考資料1-1）があったことから、対応について関係機関等と協議したところ、本調査は中止としました。なお、今後は情報収集に努め、必要に応じ調査実施の検討を行いません。

②については、移植を予定していた江戸川放水路においてH21年4月時点で既にカワアイの個体群が確認され、この個体群がもし行徳湿地のカワアイの遺伝子と異なるものであった場合に、行徳湿地のカワアイを移植することで遺伝子の攪乱になってしまう懸念があることから、江戸川放水路への移植調査を中止としました。

(2) 導流堤改修工事（参考資料1-2）

1) 平成20年度繰越工事

①工事範囲

丸浜川側の導流堤下流端から155m

②工事内容

盛土工（3次盛土まで）、捨石工（水際部）

③工期

平成20年9月30日から平成21年5月31日まで

2) 平成21年度工事

①工事範囲

丸浜川の平成20年度工事終点から180m

②工事内容

盛土工（3次盛土まで）、捨石工（水際部）

③工期

平成21年6月16日から平成21年11月12日まで

2 平成22年度の実施予定

(1) 生物生息環境調査

行徳湿地導流堤改修工事の湿地側護岸を施工するにあたって、湿地側護岸の施工前後における評価を行なうための調査を行なう。

1. 主な調査項目（H22行徳湿地導流堤改修工事の湿地側護岸周辺）

- ①底生生物調査
- ②地盤高測定（湿地側護岸及びその周辺地盤）
- ③土の粒度試験（湿地側護岸に使用する建設発生土）

2. 調査時期

- ①について導流堤改修工事（湿地側護岸）の施工前
- ②について導流堤改修工事（湿地側護岸）の施工後
- ③について導流堤改修工事（湿地側護岸）の施工時

(2) 導流堤改修工事（参考資料1-2）

1) 工事範囲

- ①丸浜川側の21年度工事終点から約150m
- ②湿地側の導流堤下流端から約60m

2) 工事内容

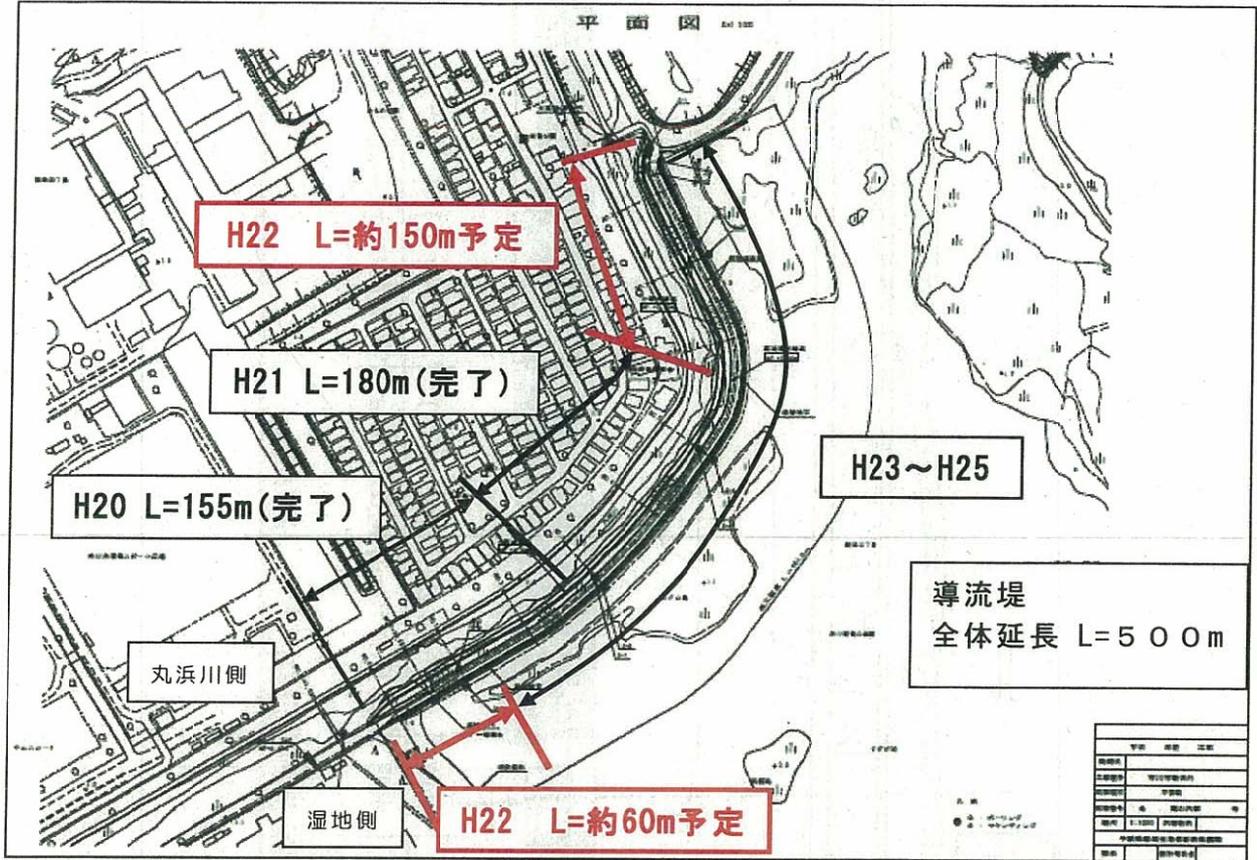
- ①丸浜川側：盛土工（3次盛土まで）、捨石工（水際部）
- ②湿地側：護岸工（既設導流堤湿地側矢板まで）

3) 着工時期

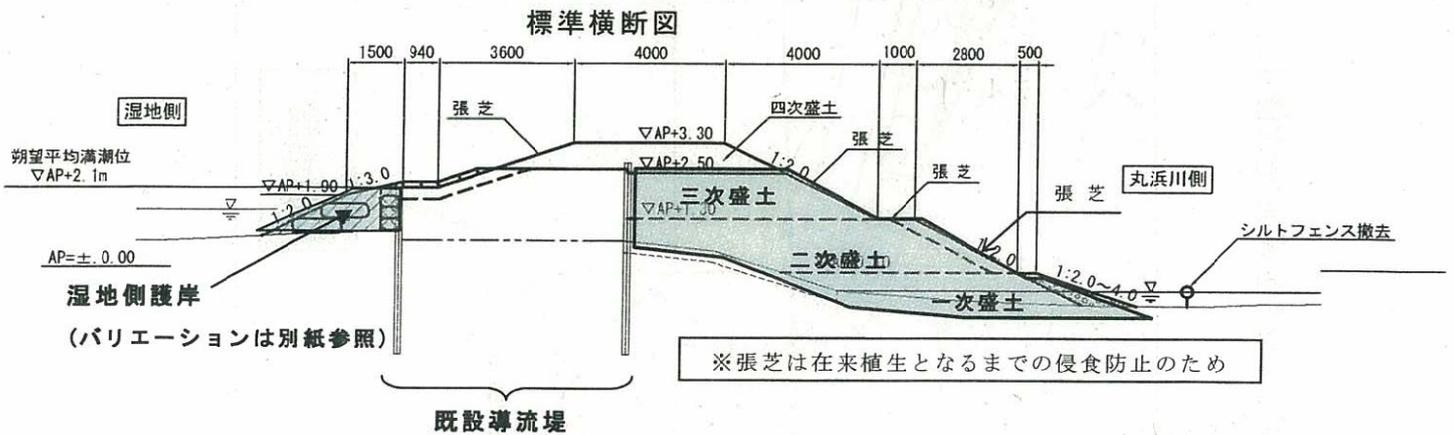
平成22年5月から平成22年11月まで（予定）

行徳湿地導流堤改修工事の全体概要

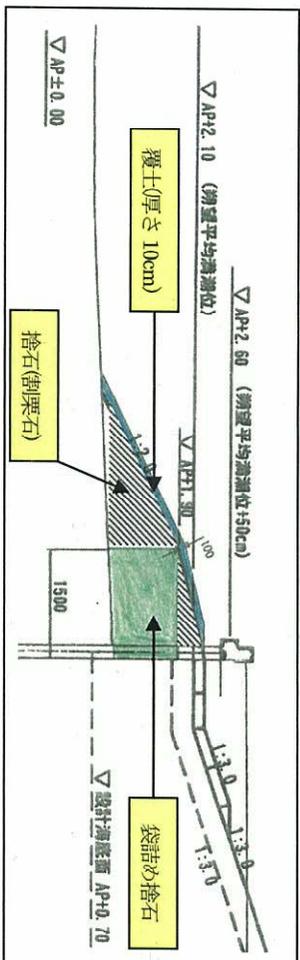
1. 平面図



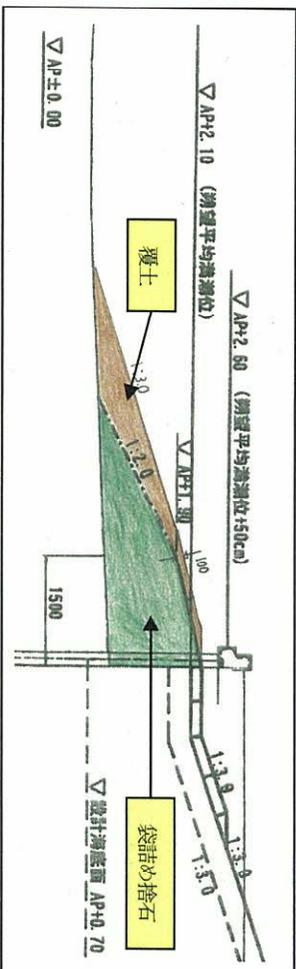
2. 改修断面図



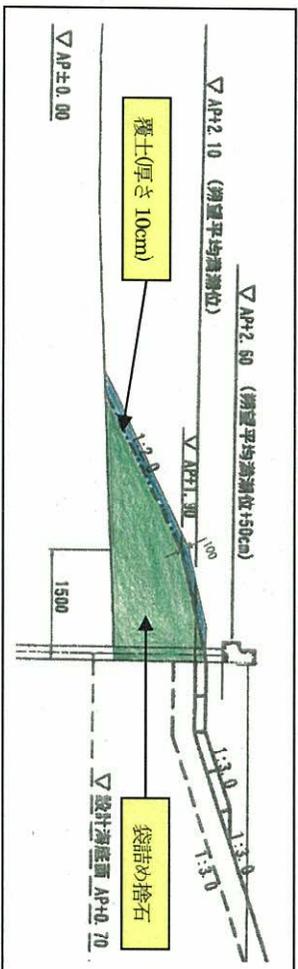
1) ケース 1



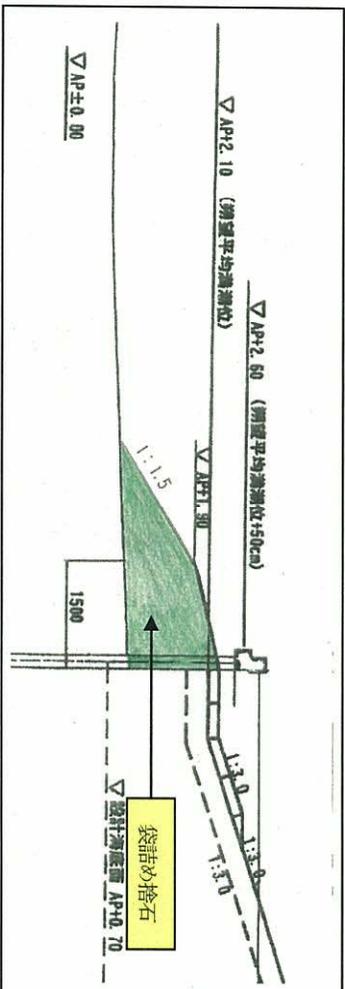
2) ケース 2



3) ケース 3



4) ケース 4



5) ケース 5

